

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。
花咲き誇り、すっかり春ですね。新年度のはじまり、いかがお過ごしですか。
私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動しています。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

- 1 「カレーライスを一から作る」実践編
- 2 森は海の恋人
- 3 給食ゲーム作成にむけて

■ 1 ■ 「カレーライスを一から作る」実践編

探検家・関野吉晴さんが、武蔵野美術大学で行ったゼミの様子を撮影したドキュメンタリー映画「カレーライスを一から作る」をご存知ですか？

<http://www.ichikaracurry.com/>

大和郡山子どもの食を考える会では、この映画を上映し、希望者と一緒に実際にカレーライスを一から作ってみる体験講座を企画中です。まだ企画途中の段階ですが、夏休み（8月頃）に映画上映会、11月玉ねぎ植え付け、2019年6月田植え、8月人参とじゃがいも植え付け、収穫を経て12月にカレーを食べるとい、1年半の大プロジェクトになりそうです。詳細が決まり次第お知らせしていきますので、お楽しみに！

■ 2 ■ 森は海の恋人

3/18（日）「森は海の恋人」運動をされている畠山重篤さんの講演会に参加しました。「森は海の恋人」運動は、宮城県気仙沼の牡蠣養殖を生業とする畠山さんが、海が豊であるためには森が豊かなくてはならないと気づき、約30年前に始められた運動です。漁師が山に植樹し、川の流域の環境を守ることで、海までの生態系を守ります。<http://www.mori-umi.org/>

2011年の東日本大震災で津波の被害を受け、海が死んだかと思われたときも、調査に来られた京都大学の先生が「今回の津波で干潟は大きな被害を受けたが背景の森林にはほとんど被害はなく、森の養分は川を通して安定的に供給されている。海の生き物は戻ってきます。これが反対に背景の森林が壊れたら、海の復活は困難でしょう」と話されたそうです。

畠山さんは、山にも木を植えてきたけれども、大切なのは川の流域の人たちの意識が変わったこと、つまり人の心にも木を植えてきたのだと話されました。

■ 2 ■ 給食ゲーム作成にむけて

きゅうしょくカンガルー！では、栄養計算、予算計算、献立作り、タイムスケジュール、導線図など、給食提供を体験できるゲームを作成しようと計画中です。その参考にさせていただくべく、3/8（木）HUG（避難所運営ゲーム）を体験しました。

HUGは、非常時の避難所でとっさの判断を迫られたとき、どのように考え、行動すべきか、実感とともに考えさせられる素晴らしいゲームでした。南海トラフ地震が80%の確率で起こるといわれている今、多くの人に体験していただきたいゲームです。

<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/e-quakes/manabu/hinanjyo-hug/>

そして、これを参考に給食提供ゲームを作成します。給食提供に関わる人たちと保護者が、無理解から対立することなく、お互いを理解し尊重した上で一緒により良い給食を実現していくためのツールとなるよう、しっかり取り組んでいきたいと思います。また進捗をお知らせしていきますね。

● 来月もお楽しみに♪ ●

メルマガ発信元 : きゅうしょくカンガルー！ (奈良の学校給食を考える会)

E-mail : oishiikyusyoku@gmail.com

facebook : <https://www.facebook.com/oishiikyusyoku>

事務局 : 生活協同組合コープ自然派奈良内 (奈良市今市町 40-1)
